

==



==

== 全中連NET通信

==

∞∞∞ 2024.10.4 ∞∞

==

全国中小企業団体連合会（全中連）

==

〒102-0093

==

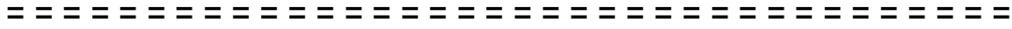
東京都千代田区平河町 1-5-3 大和屋第 2 ビル

==

TEL：03-3262-2001 FAX：03-3262-2054

==

e-mail：zen01@yacht.ocn.ne.jp



《目 次》

第 3 回ブロック代表者会議開催される	2
北海道商工連盟 創立 50 周年・50 年史「凱風」発刊記念祝賀会を開催	2
衆議院議員選挙での候補者の推薦について	4
大中連が立憲民主党大阪府連と政策・意見交換会を開催	4
最近の主な動き	5
今後の主な日程	5

第3回ブロック代表者会議開催される

第3回ブロック代表者会議が9月25日（水）にZoomにて開催されました。

報告事項として、本年度の要望書を提出したこと、ブロック活動などについては、北海道商工連盟の創立50周年記念祝賀会などについての報告がありました。

続いて協議事項に移り、今年の中研集会のテーマについての詰めの協議が行われました。

技能実習制度に変わり育成就労制度について、マイナ保険証の問題、カスハラ問題とその対策、などについて議論されました。全中連の歴史をもっと知ってもらいたいなどの意見も出されました。また最新のテクノロジーの生成AIを利用したチャットGPTの使い方や業務への活用などについては、若い人に関心を持ってもらえるのではないかと意見も出されました。

中研集会の日時と場所については以下のとおり予定しております。本日各単協に案内を発送しましたので是非ご参加いただきますようお願いいたします。

第38回中小企業問題研究集会の開催について

- ◎日時 11月7日（木）13：00～8日（金）12：00
- ◎場所 アークホテル日暮里 ラングウッド（昨年と同じ）
- ◎テーマ 育成就労制度について（厚生労働省 社会・援護局）
マイナンバーカードの利活用の現状と今後の課題（デジタル庁）
生成AIとチャットGPTの活用（株式会社AiNA 取締役 青木 昭憲）
カスハラ対策の現状と課題（厚生労働省 雇用環境・均等局 雇用機会均等課）
ふるさと納税の現状と課題（総務省 自治税務局）
- ◎参加費 宿泊する場合 2万円
宿泊しない場合 1万円
オンライン参加 3千円

北海道商工連盟

創立50周年・50年史「凱風」発刊記念祝賀会を開催

北海道商工連盟（道商工連）は9月18日、ホテルポールスター札幌（札幌市中央区）で、「創立50周年記念・50年史『凱風（がいふう）』発刊記念祝賀会」を開催し、約100人が出席しました。

宴会場は立ち席で、ウェルカムドリンクを受け取って各自テーブルを囲みます。午後6時からクラリネットとピアノによるコンサートが始まり、軽快な「A列車で行こう」など、なじみ深い5曲を披露するなど、会場を和やかな雰囲気が包みます。

主催者を代表して峰崎直樹道商工連会長が挨拶に立ち、設立総会で創立者の吉田忠三郎氏が「これまで労農提携が言われてきたが、これからは労農商連携が日本の形を変える大きな力になる」と高ら

かに宣言したのを、昨日のこのように覚えていますと当時を振り返りました。

続いて来賓の三橋剛北海道副知事が挨拶し、石川敏也札幌副市長が秋元克広市長のメッセージを代読しました。「中小企業者が相互扶助の精神に基づき経営の安定と従業員の福祉向上を図り、北海道や札幌市の経済発展に寄与してきたこと」に敬意と感謝を述べました。

立憲民主党北海道総支部連合会の松木けんこう副代表（衆議院議員）は、中小企業経営者の一人として、所得税率が大企業より高いのに違和感があると税負担の仕組みを研究したいと述べました。

連合北海道の須間等会長は本年の春闘で、道内300人以下の中小企業の賃上げは定昇込み4.46%になり、最賃も50円引き上げで1010円になって経営は大変だが「中小企業が労務費の上昇分を価格転嫁できる環境整備に今後も一層取り組んでいきます」と、賃上げへの理解を求めました。

祝宴は、勝部賢志道商工連協同組合理事長（参議院議員）による乾杯で始まり、テーブルに次々と運ばれる料理を食べながらの歓談になりました。会場では名刺交換などが行われ、その間に、顧問の国会議員や、相談役の道議会議員、札幌市議会議員らの紹介も行い、祝電やメッセージも披露しました。

同7時30分、祝宴の最後は徳永エリ道商工連副会長が挨拶し、峰崎会長の一本締めで散会となりました。



北海道商工連盟 創立50周年・50年史「凱風」発刊記念 祝賀会コンサート

衆議院議員選挙での候補者の推薦について

衆議院は10月9日に解散になることが確定し、総選挙がおこなわれることとなります。このままの状況では投開票は10月27日の日程で行われる見通しとなっております。

全中連としては、政策実現や会員事業所の諸問題を解決するためにも、全中連国会議員団の所属議員をはじめ、全中連活動に賛同する議員を多数当選させることが求められます。

全中連活動、単協活動に理解があり、事業活動の円滑な推進のために役立つ議員との結びつきを強めていくためにも、選挙での応援は重要です。

各ブロック協議会、都道府県中連並びに単協は、衆議院選挙での候補者の推薦が決まりましたら、全中連としても候補者を推薦いたしますので、全中連までお知らせ下さい。推薦決定通知書をブロック、都道府県中連または単協に送付しますので、それぞれから各陣営にお渡し下さい。

議員への各組織からの積極的な応援は、今後の全中連活動に対する協力関係の強化にもつながりますので、積極的な取り組みをお願いいたします。

大中連が立憲民主党大阪府連と政策・意見交換会を開催

9月18日、大阪JAMホール（JAM西日本会館6階）にて、立憲民主党大阪府連代表森山裕行衆議院議員、はぎはら仁元衆議院議員並びに山田けんた府議会議員その他議員や秘書に対し、大阪中小企業団体連合会、安田一弘会長と花垣喜久専務理事並びに井上 績理事が、参加して政策・意見交換会を行いました。安田会長が全中連の組織につき挨拶されました。

事前に、全中連が作成した省庁交渉の要望書と大阪側の作成した要望書を前に話し合いました。

花垣専務理事が作成した要望書を読み上げて、森山代表はインボイス制度に関して事業者の困りごとなどがなく、マイナ保険証についての問題や「年収の壁」問題、ふるさと納税について実際に困った点などの質問がありました。

花垣専務理事は、国民健康保険料と国民年金保険料の多額負担や「年収の壁」問題につき会員の状況を伝えました。インボイス制度の本格的な会員への負担は来年3月以降はっきりし、また、マイナ保険証の使用状況は鈍く、健康保険証との併用が必要であること。「年収の壁」問題では、短期的救済ではなく長期にわたる事業者への救済を考えてほしいと伝え、さらに個人事業者の価格転嫁に対する問題で、社会保険料の負担増に悲鳴を上げている事など。そして、大阪・関西万博の開催は間に合うように工事を進めたことで、労災事故が起こっている事とIR事業の工事が万博開催中に並行して行われることの懸念を話しました。

森山代表はマイナンバーカードが、保険証や免許証等を紐づけた際に金融機関情報とは別枠にして設けること、また万博につき実際どんな事業者の負担がかかっているのかと聞かれました。

また、はぎはら氏は、ふるさと納税の見直しにつき被害状況を聞かれました。最後に、山田けんた議員から、大学生が就職する際に学生時の奨学金を返済しなければならない問題で、事業者への補助金支援制度があることを話されましたが、我々は知らなかった事ですぐに補助金がなくなりその公表がネット上であり、あまりに狭い範囲での公表であったことなど事業者に対しての広報が徹底していないことも知りました。

立憲民主党大阪府連の皆様には、代表選挙の前に政策・意見交換会を開催していただきお礼申し上げます。

◎最近の主な動き

9月 25日 第3回ブロック代表者会議〔Zoom〕

◎今後の主な日程

11月 7,8日 第38回中研集会〔東京〕